

関西道路研究会 道路橋調査研究委員会
橋梁の健全度診断技術に関する研究小委員会
第1回 委員会議事録

日 時： 平成 24 年 10 月 31 日（水） 15:00～17:00
場 所： 立命館大阪キャンパス 5F 第7会議室
議 事： 1. 委員長挨拶および趣旨説明
2. 委員自己紹介
3. WG構成と今後の活動計画
4. 次回委員会開催予定

■主な議事内容

3. WG構成と今後の活動計画

本委員会において3つのWGを設置する予定。各WGの今後の活動計画について説明された。
主な議論の内容は以下の通り。

【鋼橋WG】

▼鋼橋WGでは、健全度を明確にする技術や合理的な方法を探るのがよいのではないかと。例えば、ある橋梁の現場において、いくつかの新技术を提案・検証してみるなど、具体のケーススタディを検討することも考えられる。

【コンクリート橋WG】

▼補修しても再劣化する実態が多いことを踏まえ、補修・補強した構造物の性能を評価するための健全度評価技術に関して検討することは、新たな試みと言えるのではないかと。
▼既往の診断技術には何があってもどこが抜けている、どこに情報がまとめられているかをまず整理する必要がある。

【新技术導入WG】

▼新技术が開発されても現場で適用されないという実態に対して、どこにどんな問題があるのか、産官学が一体となって研究しフラットな立場で議論したい。制度的ボトルネックがあるともいわれているが、制度論と、個別技術の話に分れるのではないかと。既往技術の問題点を抽出することで方針が見えてくるかもしれない。

【その他】

▼各委員が関与／保有している供試体を用いた共通実験を行う方法もある。
▼本委員会のプレゼンスを示すために、公開できる情報を積極的にHPに掲載していく。

4. 次回委員会開催予定

平成25年1月30日（水） 14時～17時

以上